

# トヨタ下山環境学習センター

TOYOTA Shimoyama Environmental Education Center

No. 13-078-2023作成

新築

その他/事務所

発注者 トヨタ自動車株式会社  
 設計・監理 株式会社竹中工務店  
 TAKENAKA CORPORATION  
 施工 株式会社竹中工務店

カテゴリー  
 A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB  
 E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携  
 I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他



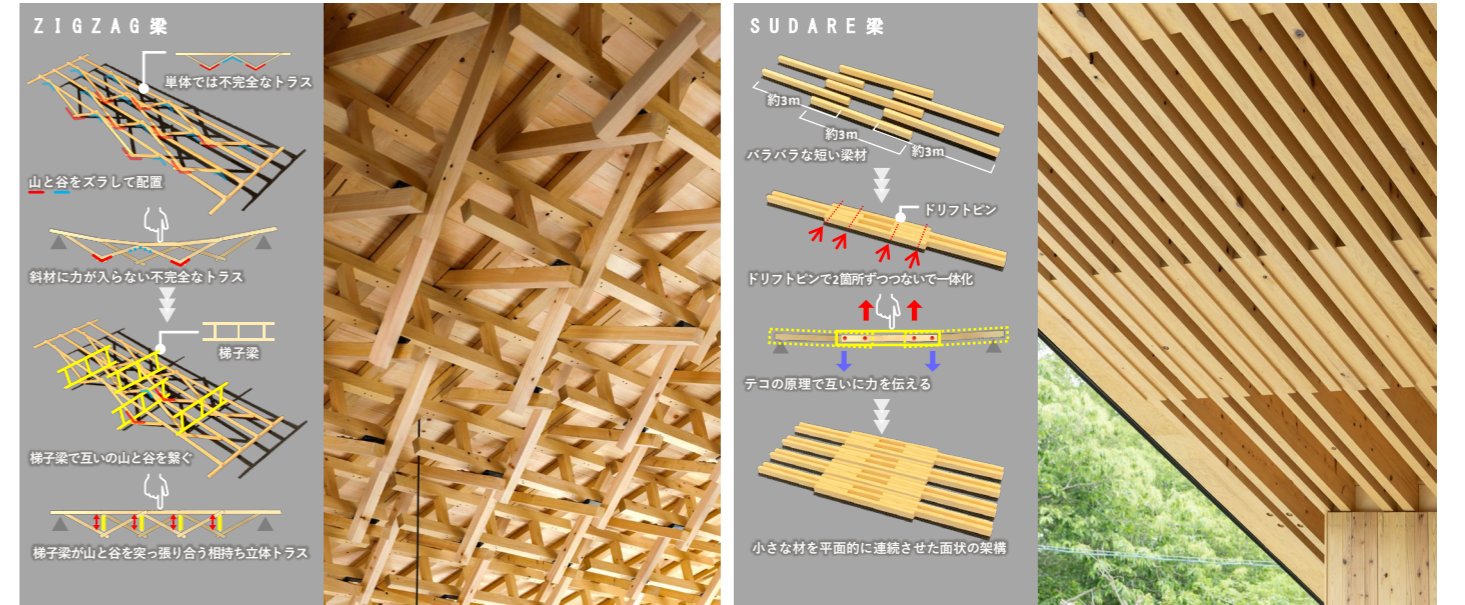
## 里山を学ぶ環境学習施設

現地に残る里山を中心とする希少な自然環境をフィールドとした環境学習のための施設である。敷地内林の環境整備のために間伐が行われており、副産材である「細く・短い」材を構造架構として魅せる木造大空間を計画した。製造が遠方となる集成材は利用せず、丸太からとれる小さな材を相持ち構造とすることで、特色である細く短い木に包まれ、周辺環境と一体となり建築空間そのものが環境学習に生かされる空間づくりを行った。



## 製材過程を含めた、地産地消の間伐材建築

森林からの間伐材は細い材が主体で、搬出する路網も十分に整備されていないことから短く切断して搬出することになる。本計画ではその「細く、短い」間伐材を個性と捉え空間デザインに展開し、環境整備から生まれた木造建築の在り方のひとつを表現した。

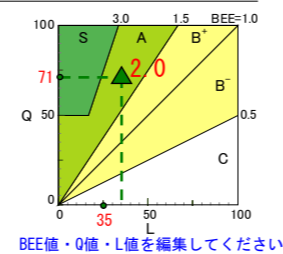


設計担当者 建築：因純一、田中匠、吉田敦 / 構造：石原清孝、葛壁潤一郎、金子侑樹 / 設備：金子研、稲垣友規 / 写真：ナカサ&パートナーズ

建物データ  
 所在地 愛知県豊田市  
 竣工年 2023 年  
 敷地面積 3,313,592㎡  
 延床面積 423 ㎡  
 構造 木造  
 階数 地上1階

省エネルギー性能  
 BPI (モデル建物法) 0.70  
 BEI (モデル建物法) 0.82  
 LCCO<sub>2</sub>削減 19 %

CASBEE評価  
 Aランク  
 BEE=2.0  
 2016年度版  
 自己評価



主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (地域性のある素材)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (庇の深い外装)
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減 (間伐材の利用)
- LR3. 1. 地球温暖化への配慮 (LCCO<sub>2</sub>削減)